

## 2019年6月期修正事業計画書

対象期間：2018年7月1日から2019年6月30日まで

当財団の主な財源である東京応化株式の配当が増額される予定であることから、当財団が重点課題として位置づけている「科学教育の普及・啓発助成」事業の一環で行っていることもたちが集う公的施設への推薦図書への寄贈活動をより積極的に行い、理科好きな青少年の育成を図っていく。なお、推薦図書への寄贈ではこれまでに行ってきたPhase1の選定図書に加え、新たにPhase2として子どもたちに読んでもらいたい図書を選定し、神奈川県下の全小中高校や図書館ならびに被災地などへ支援していくものとする。

### 1. 助成&表彰事業

#### (1) 研究費の助成事業

- (i) 助成対象：化学の領域における基礎研究または応用研究であって、先駆的独創的にして、わが国の科学技術の振興に貢献することが充分期待され得るもの。
- (ii) 助成金額：1件100万円（設備備品費、消耗品費、国内旅費）までを限度とする。
- (iii) 推薦：候補者は、本財団役員及び評議員、またはこの法人で適当と認めた化学系学会等の推薦による。

#### (2) 国際交流助成事業

- (i) 助成対象：化学の領域において、次の国際研究交流に貢献することが期待されるもの。
  - ① 海外における国際研究集会への出席、または主催者側から必要と認められ招聘される者。ただし、国公費による出張者を除く。
  - ② 国内で行われる国際研究集会。
  - ③ 国外で行われる国際研究集会。
- (ii) 助成金額：
  - ① の場合：1件30万円（渡航運賃）までを限度とする。
  - ② の場合：1件50万円（会場費、印刷費、国内滞在費）までを限度とする。
  - ③ の場合：1件50万円（滞在費、印刷費、招聘費）までを限度とする。
- (iii) 推薦：「研究費の助成」の場合と同じ。

#### (3) 研究交流促進助成事業

- (i) 助成対象：産業・経済の発展に貢献することが期待される科学技術に関し、産学官等の研究交流促進が図れるもの。
- (ii) 助成金額：1件100万円（会議開催費、講師招聘費用等）までを限度とする。
- (iii) 募集：原則公募による。

(4) 科学教育の普及・啓発助成事業

I. こどもたちへ科学教育の普及・啓発活動を行っている団体等への活動費支援

(i) 助成対象：科学技術や理科に興味を持った青少年を育成することを目的として、科学教育の普及・啓発が期待されるもの。

(ii) 助成金額：1件原則30万円（会議費、印刷費、教材費、備品費、旅費、講師料等）とする。継続助成は原則3年。

(iii) 募集：公募による。

II. 科学教育の普及・啓発活動を行っている団体等の活動成果をまとめた書籍刊行費支援

III. 科学教育の普及・啓発を目的にこどもたちが集う公的施設への推薦図書への寄贈支援

(5) 表彰事業

I. 向井賞の表彰事業

(i) 表彰対象 科学技術の振興に関する特に優れた研究業績。

(ii) 表彰内容 1件：賞状ならびに賞牌、副賞（100万円）。

(iii) 推薦 本財団役員及び評議員、または、この法人で適当と認めたものによる。

II. 向井記念科学講演会の開催

科学技術の振興に貢献することを目的とし、向井賞受賞者の講演を中心に前年研究助成対象者の成果発表の講演会を開催。

3. 事業運営のため、次の各種集会を行う。

(1) 理事会 5回【8月、9月、12月、3月、5月】

(2) 評議員会 4回【9月（定時）、12月、3月、5月】

(3) 選考委員会（2月）

(4) 企画・運営会議 随時

(5) 表彰・贈呈式 1回（5月・川崎）

(6) 記念科学講演会 1回（5月・川崎）

以上